

厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)
分担研究報告書

過疎地域等における急性心筋梗塞の急性期治療の体制整備に関する研究

研究分担者 高山 守正 公益財団法人日本心臓血圧研究振興会附属 副院長
榊原記念病院

【研究要旨】 三重大学が中心となり「過疎地域等における急性心筋梗塞の急性期治療に関する研究」が進行中であり、東京都は三重県・愛媛県・石川県・青森県が含まれる過疎地域に対し、対照となる位置づけで患者データの集計と解析を進めている。東京都では東京都CCU連絡協議会(東京都CCUネットワーク)が既に1978年より急性心筋梗塞に対する緊急治療連携システムを発足し、心血管救急集中治療が可能な施設を包括する改変を繰り返した。2013年には71施設が参画し、緊急カテーテル治療と合併症に対するCCU治療を実施できる体制が運営されている。2013年は本研究の2年目であり、東京都の役割としてCCUに収容された4494例の患者登録を現在進行中である。今後、本研究に参加する4県の患者データと合わせて解析を進める。

A. 研究目的

東京都に2013年に発生した急性心筋梗塞について、発症からCCU施設収容ならびに急性期治療とその転帰について解析を行い、参加4県の結果と比較検討を行う。

集中治療施設への搬送と実施された診療の違いが、治療成績と関与するかを検討する。東京都は都市部の代表であり、比較検討の対照として重要な位置づけとなる。詳細な解析を進める。

B. 研究方法

東京都CCUネットワーク参画71施設の急性心筋梗塞患者の従来からのCCUネットワーク登録データから、本研究に用いる項目について分離し登録を行う。

(倫理面への配慮)

1982年より東京都で行われているコホート研究であり、各施設での承認は済んでいる。データ集計にて各個人データは姓名等の個人を識別できるデータは既に未梢されて登録されており、本研究への参加時には個人IDに関しては完全に匿名化されている。

E. 結論

全国4県と過疎地域と東京を代表とする都会における急性心筋梗塞の急性期診療体制とその転帰の解析は有用性が高いと考えられる。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

1) 高木 厚、宮内克己、伊藤茂樹、山崎正雄、田中博之、吉川雅智、宮地秀樹、山本 剛、長尾 建、高山守正:急性心筋梗塞発症から119番通報までの時間はいまだに長い:2009年CCUネットワークデータベースからの報告。ICUとCCU.2013(37別冊):45-46.

2) 宮地秀樹、高山守正、高木 厚、宮内克己、伊藤茂樹、山崎正雄、田中博之、長尾 建、山本 剛:東京都CCUネットワークにおける急性心筋梗塞に対する直接的経皮的冠動脈インターベンションの最近の特徴と管理について。ICUとCCU.2013(37別冊):78-80

C. 研究結果

東京都にて発症し71CCU施設より集計された急性心筋梗塞患者は4494例であった。うち228例が30日にて死亡しており、死亡率は5.1%であった。詳細な解析は今後の詳細データ集計後に行われる。

D. 考察

東京都は夜間人口1301万人であり、2/3が23区内の商業・居住地域、1/3が多摩の居住・田園地域である。ここに発生する急性心筋梗塞の発症から急性期治療に関する解析は、国内の4県が主となる過疎地域等に発生する急性心筋梗塞と差異があるか、また発症から心血管救急

- 3) 高山守正、高木 厚、宮内克己、伊藤茂樹、吉川雅智、宮地秀樹、山崎正雄、田中博之、山本 剛、長尾 建: 大都会東京における急性心筋梗塞患者の緊急搬送状況。ICU とCCU.2013(37 別冊):85-87
- 4) 高山守正: 全国 ACS 地域心血管救急への支援の状況。ICUとCCU.2013(37 別冊):22-23.
- 5) 立花栄三、長尾 建、高山忠輝、細川雄亮、高山守正: 東京のショック・心停止例の解析から見える ACS 診療に生かすべきこと。ICU とCCU.2013(37 別冊):28-31.
- 6) 藤本 肇、小宮山浩太、及川恵子、代田浩之、中村正人、長尾 建、山本 剛、高山守正: 非 ST 上昇型心筋梗塞に対する緊急血行再建の有効性は年齢によって異なる。ICU とCCU.2013(37 別冊):47-49.
- 7) Chest Compression-Only Cardiopulmonary Resuscitation for Out-of-Hospital Cardiac Arrest With Public-Access Defibrillation: A Nationwide Cohort Study.
Iwami T, Kitamura T, Kawamura T, Mitamura H, Nagao K, Takayama M, Seino Y, Tanaka H, Nonogi H, Yonemoto N, Kimura T; for the Japanese Circulation Society Resuscitation Science Study (JCS-ReSS) Group.
Circulation. 2012 Dec 11;126(24):2844-2851.

2. 学会発表

- 1) Miyachi H, et al. A Comparison of ST Elevation versus Non-ST Elevation Myocardial Infarction in Tokyo CCU Network Database. 第78回日本循環器学会学術集会。2014.3.
- 2) Yamasaki M. et al: Onset to Emergency Medical Service Call in Patients with Acute Myocardial Infarction in Tokyo Metropolitan Area. 第78回日本循環器学会学術集会。2014.3.
- 3) Miura M. et al: Impact of Statin Pretreatment on Mortality in Patients with Acute Myocardial Infarction. 第78回日本循環器学会学術集会。2014.3.
- 4) Yoshikawa M, et al: In-Hospital Mortality in Patients with Acute Myocardial Infarction with Killip I. 第78回日本循環器学会学術集会。2014.3.

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし